

「テーマを決めて、プレゼンテーション対決をしよう」

資料や機器などを効果的に活用して話す

資料を作成して発表する際に、資料の提示の仕方を工夫し、その理由を明らかにすることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、資料の効果的な活用について考える学習を提案します。プレゼンテーションをする際に、話し手の意図を明確にしながら、資料の内容や提示のタイミングなどを観点として交流することで、資料を効果的に活用して話す力を付けることを狙いとしています。

課題の見られた問題の概要と結果

B1 資料を作成して発表する（オカリナ）

B1三 正答率 **56.6%** 演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く。

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕A 話すこと・聞くこと
〔第1学年〕B 書くこと

授業アイデア例

学習の流れ

「日本文化のよさ」というテーマでプレゼンテーション対決を行うことについて、学習の見通しをもつ。
自分がどの素材でプレゼンテーションをするかを決める。（第1時）

担当する素材について情報を集める。
プレゼンテーション対決の審査の観点を確認し、発表の流れをまとめ、提示する資料を作成する。
チームごとに交流して助言し合い、ノートや資料を修正する。（第2、3時）

プレゼンテーション対決を行い、審査する。
発表の内容について、チームや個人で振り返る。（第4、5時）

（言語活動）「日本文化のよさ」というテーマでプレゼンテーションをする。

第1時

① 学習の見通しをもつ。



教師

プレゼンテーション対決を通して、資料の効果的な活用の仕方について学習しましょう。

プレゼンテーション対決の概要

- 5人ずつのチームを作り、対決するチームを決める。
- 対決するチームごとに、提示された素材の中から五つを選び、同じ素材を担当した者同士で一組ずつ対決する。
- ルール・条件は次のとおりとする。
 - (1) 発表する時間は一人2分以内。
 - (2) 担当する素材について、日本文化のよさが伝わる情報を三つまでに絞って話す。
 - (3) 提示する資料はフリップ1枚以上。必要に応じて写真やグラフなどを使用。
 - (4) 対決していないチームは審査員となる。
- 一組の対決が終わったら、自分たちのチームの発表について振り返る。審査員の代表は、審査の結果をまとめる。時間は3分以内。
- 審査員の代表が審査の結果を発表する。時間は1分以内。

素材の例

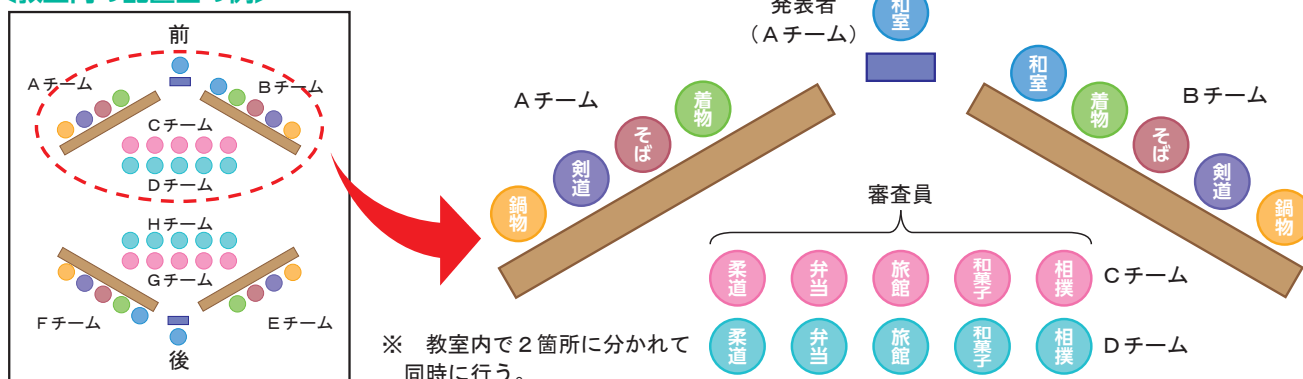
〈衣〉 ・ 着物
〈食〉 ・ すし ・ そば
・ 弁当 ・ 鍋物
・ 和菓子
〈住〉 ・ 和室 ・ 旅館
〈武道〉 ・ 剣道 ・ 柔道
・ 相撲
など

② 教師によるプレゼンテーションを聞いて、資料の効果的な活用についてのイメージをもつ。

※ フリップの内容、資料を提示するタイミングなどに注意して、幾つかのパターンを見せるようにする。

③ 5人ずつのチームを作り、誰がどの素材でプレゼンテーションをするかを決める。

〔教室内の配置図の例〕



- 4 自分が担当する素材について、書籍やインターネットなどで情報を集める。
- 5 審査の観点を確認し、集めた情報を基にして発表の流れをノートに整理する。
- 6 ノートに整理した内容を基に、提示する資料を作成する。
- 7 チームごとにノートの内容や提示する資料を交流して審査の観点に基づいて助言し合い、ノートや資料を修正する。

- 資料の内容は適切であったか。
- 資料を提示するタイミングは効果的であったか。



〔Aチームの「和室」を担当した生徒のノートの例〕

発表の流れ	その他の情報 ※ 状況に応じて使用する
■ 聞き手を見てから話し始める	
○ 始めの言葉	
1 優れた機能をもつ畳 ・湿度を調節する。 ・弾力性がある。 ★ここで写真を提示して、続き間がどのようなものかイメージしてもらおう。	※ 畳の上に直接寝ることもできる。
2 使い勝手がよい続き間 ・二つの部屋を一つにして使える。 ★続き間の写真を提示する。	※ 大勢での食事のときは広くして使える。ふだん寝るときは個室として使える。
■ 質問がないか尋ねる	
○ 終わりの言葉	

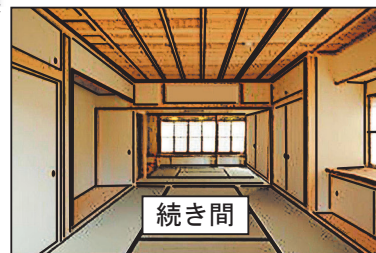
畳の優れた機能について伝えたいということだけど、弾力性があることで、どのようなよい点があるのかについても説明した方がよいのではないかな。



「二つの部屋を一つにして使える」とはどういうことか、続き間の写真を見るまで理解できなかったよ。写真を提示するタイミングを変えた方がよいのではないかな。



〔提示する写真の例〕



状況に応じて、ノートに示した「その他の情報」を活用するなど、工夫して発表しましょう。

- 8 プレゼンテーション対決を行う。審査員は、審査の観点に基づいて審査する。
- 9 発表者は、発表の際に留意したことや、状況に応じて工夫したことなどをチーム内で説明し、効果があったかどうかについて互いに意見を述べ合う。審査員の代表は、審査の結果をまとめる。

提示した写真を伏せようとしたら目で追う人が多かったので、最後まで提示し続けました。また、どのようなときに続き間を活用するのかについて質問を受けたので、「その他の情報」に示した「大勢での食事のとき」などに活用できることを補足しました。



Aチームの「和室」を担当した生徒

- 10 審査員の代表が、審査の観点に触れながら結果を発表する。



Aチームのプレゼンテーションの方が良かったです。資料の内容については、和室のすばらしさを二点に絞り、1枚のフリップにまとめていて要点が一目で分かりました。また、写真を提示するタイミングがよく、写真を見ながら続き間についての具体的な説明を聞くことができました。

※ 以下、8から10を繰り返し、チームの勝敗を決める。

- 11 チーム内での交流や審査の結果を踏まえて、各自で自分の発表を振り返る。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 審査の観点を、資料の内容と提示するタイミングなどに分けることで、資料の効果的な活用の仕方について理解を深めることができる。